

# 部活動の地域展開等の全国的な実施に向けて —学校と地域の共創によるスポーツ・文化芸術環境の進化—

## 1

### 部活動の地域展開等の背景と経緯

#### (1) 背景

文部科学省では、公立中学校等を主な対象として、部活動の地域展開・地域連携（以下「地域展開等」という。）の取組を推進しています<sup>1</sup>。近年の急速な少子化・人口減少に伴い学校の規模が縮小する中で、1部活動あたりの生徒数が減少し続けるなど、従来のような学校単位での部活動の維持が困難になってきています。また、学校における働き方改革や専門性の観点から、教師等が顧問を務める体制も限界を迎えていました。このような状況下で、将来にわたって生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保・充実するためには、地域の資源を最大限活用しながら、生徒のニーズに応じた多様で豊かな活動を実現することが重要です。

#### (2) 経緯

こうした考え方のもと、スポーツ庁・文化庁では、令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、

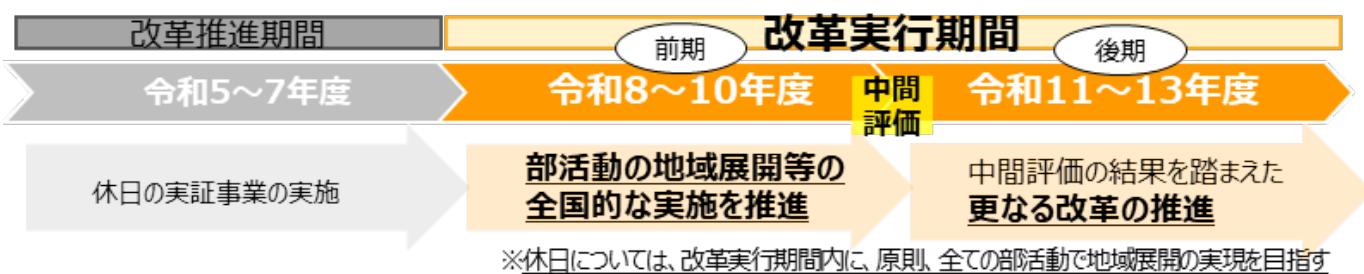
<sup>1</sup> 「地域展開」は、生徒のスポーツ・文化芸術活動を部活動から地域クラブ活動に展開すること。「地域連携」は、部活動において部活動指導員等の配置や合同部活動等を実施すること。

令和5年度から7年度までの3年間を「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動を中心とした改革を進めてまいりました。この間、部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業を実施し、自治体の多様な取組を支援してきました。実証事業に取り組む自治体は、令和5年度から年々増加し、令和7年度にはスポーツで670自治体、文化芸術で251自治体に取り組んでいただくなど、「改革推進期間」の3年間で着実に部活動改革の取組が広がっています。

また、文部科学省では、令和6年8月より「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」を開催し、令和8年度以降の改革の方向性や課題の解決策等を有識者に御議論いただきました。令和7年5月には「最終とりまとめ」がまとめられ、令和8年度から13年度までの6年間を「改革実行期間」と位置づけ、休日については、当該期間内に、原則、全ての部活動において地域展開の実現を目指すことなどが示されました。

令和7年6月にはスポーツ基本法が改正され、部活動の地域展開等の根拠となる規定（第17条の2：中学校の生徒が継続的にスポーツに親しむ機会の確保）が創設されています。

その後、これらを受けた施策の具体化等について検討・調整を進め、令和7年12月には、文部科学省として部活動改革に関する新たなガイドラインを策定しました。また、令和7年度補正予算及び令和8年度当初予算案において、計139億円を計上し、自治体の取組を総合的かつ継続的に支援することとしています。



## 2

## 部活動改革に関する 新たなガイドライン

文部科学省では、上記の実行会議における「最終とりまとめ」等を踏まえ、令和7年12月に「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を新たに策定しました。この新たなガイドラインは、令和8年度からの「改革実行期間」における部活動改革の推進等に関して、国としての基本的な考え方や具体的な取組方針等を示すものであり、全6章で構成されています。その要点は次の通りです。

### 第1章 部活動改革の基本的な考え方・方向性

- ・急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するためには、部活動改革を進めることが不可欠。
- ・学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障することが重要。
- ・令和8年度から13年度までの6年間を「改革実行期間」とし、休日については、改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。平日についても各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。
- ・学校部活動をベースとした地域との連携も含め、地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要。

### 第2章 地域クラブ活動の在り方及び認定制度

- ・地域クラブ活動においては、学校部活動の教育的意義を継承・発展させつつ、地域全体で支えることによる新たな価値を創出することが重要。

## &lt;新たな価値の例&gt;

- 生徒のニーズに応じた多種多様な体験（マルチスポーツ、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動など）

- 学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出
- 地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流
- 適切な資質・能力を備えた指導者による良質な指導
- 学校段階にとらわれない継続的な活動 等

- ・地域クラブ活動について、民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、認定制度（国が定める要件等に沿って、市町村等が認定を行う仕組み）を新たに構築（認定制度の詳細は下図を参照）。認定を受けた活動（「認定地域クラブ活動」という。）は、公的な支援（財政支援、学校施設の優先利用等）や大会・コンクールへの参加などの対象となることを想定。

### 第3章 地域展開の円滑な推進に当たっての対応

- ・推進体制の整備として、自治体における体制整備や、国・都道府県・市区町村等の役割分担、生徒が所属する中学校等との連携、民間企業・大学・関係団体等との連携等について記載。
- ・指導者確保等の各種課題への対応について、6項目に分けて具体的な取組内容等を記載するとともに、生徒のニーズ反映や地域クラブ活動への参画促進等の方策についても記載。

### 第4章 学校部活動の在り方

- ・部活動指導員の配置や部活動数の適正化、部活動開始・終了時刻の繰上げなどの工夫を行い教師の負担が過度とならないよう十分留意するなど、適切な指導・運営体制を整備。
- ・暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の根絶や、適切な活動時間・休養日等の設定、生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備。

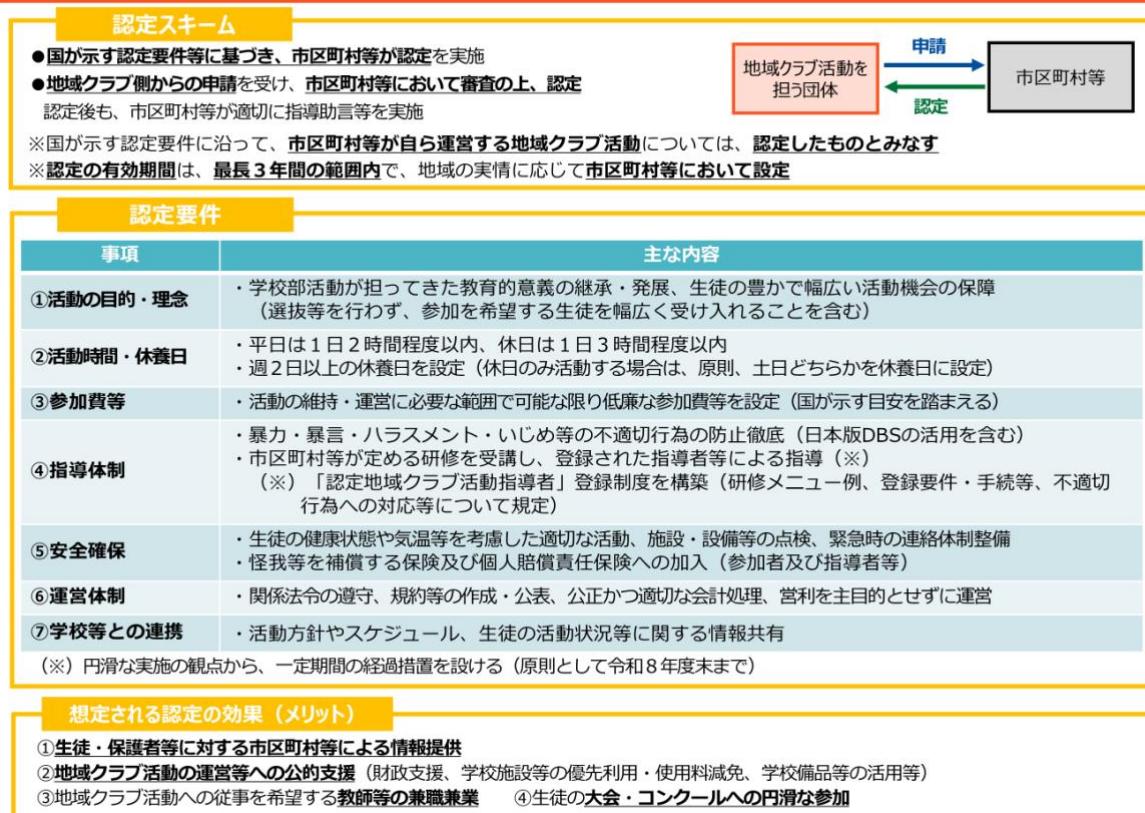
### 第5章 大会・コンクールの在り方

- ・地域クラブ活動の大会参加を更に促進するとともに、大会への引率や運営について、教師以外の関係者の参画を更に促進するなど持続的で効率的な体制を整備。
- ・生徒の安全面を考えた開催時期・場所の設定及び運営

#### 部活動の地域展開等の全国的な実施に向けて

—学校と地域の共創によるスポーツ・文化芸術環境の進化—

## 地域クラブ活動に関する認定制度の概要



上の工夫や、生徒のニーズに応じた多様な大会の開催。

## 第6章 関連する制度の在り方

- 希望する教師等が兼職兼業で地域クラブ活動の指導者として活動することを促進（中学校教師だけでなく、小学校教師（体育専科等）や高校・特別支援学校の教師等を含む）。
- 教師の人事・採用での部活動指導力の評価における留意や高校入試における取扱いなどについても考え方を整理。

援等に要する経費として82億円を計上しました。また、令和8年度当初予算案において、①地域クラブ活動の活動費等の支援（指導者謝金、事務局人件費等）や、②経済的困窮世帯の生徒への支援、③中学校における部活動指導員の配置支援等に要する経費として、57億円を計上しています。これらを合わせると139億円となり、前年度（令和6年度補正予算+令和7年度当初予算：66億円）の2倍を超える規模となります。文部科学省としては、これらの予算に基づき、新たな補助金を創設し、自治体の取組を総合的かつ継続的に支援してまいります。

3

### 部活動の地域展開等に係る予算

文部科学省では、令和7年度補正予算において、(1)自治体の推進体制整備等や、(2)地域展開等の加速化のための重点課題への対応及び(3)自治体への伴走支

4

### 文部科学省の今後の取組

文部科学省においては、令和8年4月から「改革実行期間」が開始することを踏まえ、本稿でこれまで述べてきた改革の理念や方向性等について、国が先頭に立つ

て周知・広報を行うとともに、新たな補助制度による地域クラブ活動の推進等の支援、相談・サポート窓口の設置やアドバイザー派遣等による自治体へのきめ細かな伴走支援などにより、部活動の地域展開等の全国的な実施を推進してまいります。

## 5 おわりに

部活動の地域展開等の推進に当たっては、広域自治体である都道府県によるリーダーシップの発揮と、改革の責任主体である市区町村等による包括的な企画・調整等が欠かせません。

また、部活動が地域展開された場合にも、地域クラブ活動の円滑な実施のために、教師等の兼職兼業や学校施設の活用等を含め、学校と地域クラブの連携が重要です。文部科学省では新たなガイドラインと併せて、兼職兼業の許可に関する要綱や様式のひな型もお示ししていますので、教育委員会におかれはぜひ御活用の上、速やかに関係規程等の整備等を進めていただければと思います。

スポーツ庁では、地方公共団体専用の相談窓口として「地域スポーツクラブ活動アドバイザー事務局」を設置しています。当事務局においては、地方公共団体からの相談・問合せやアドバイザーの現地への訪問・講演等に無料で対応しておりますので、ぜひ御活用ください。

部活動の地域展開等は、地域の様々な関係者が連携・協働し、子供たちにとってより良いスポーツ・文化芸術環境を未来へ繋ぐ取組であり、この改革を成功させることは我々大人の重要な責務であると考えています。部活動が直面する危機を、「地域の」スポーツ・文化芸術環境を進化させる好機に変えるため、引き続き御協力をお願いします。

—「部活動が変わる、未来が広がる。」

〈関連リンク〉

★部活動改革ポータルサイト  
(スポーツ庁)

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop01/list/1372413\\_00003.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00003.htm)  
(文化庁)

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/sobunsai/93972201.htm>

・予算資料

[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop01/list/jsa\\_00014.html](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/jsa_00014.html)

・令和6年度 地域スポーツクラブ活動体制整備事業事例集

[www.mext.go.jp/sports/content/20250901-sptoripara-000028260\\_01.pdf](http://www.mext.go.jp/sports/content/20250901-sptoripara-000028260_01.pdf)

・令和6年度 文化部活動改革（部活動の地域移行に向けた実証事業等）事例集

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/sobunsai/pdf/94268701\\_01.pdf](https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/sobunsai/pdf/94268701_01.pdf)

・アドバイザー事務局

<https://sports-club-advisor.jp/>